



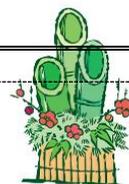
八小だより

武蔵村山市立第八小学校 令和3年1月7日

<http://www.city.musashimurayama.lg.jp/mmced8s/index.html>

教育目標

- ◎ 考える子
- 思いやりのある子
- やりとげる子
- 礼を重んずる子



行動目標

わけをそえて話すことができる子
教室で話しているのは一人

孫娘から学んだこと

校長 牧 一彦

令和3年あけましておめでとうございます。今年のお正月は、年末寒波の影響で冷え込みが厳しかったものの、日差しは暖かく、過ごし易い日々でした。保護者・地域の皆様におかれましては、御家族おそろいでよい年をお迎えのことと思います。本校では本日、第3学期の始業式を実施いたしました。どの教室からも子どもたちの元気な笑い声が響いています。

我が家では、新潟に住む娘夫婦と孫2人、さらに一人暮らしの息子が年末に帰省し、賑やかなお正月を迎えました。孫は上の子が2才4か月、下の子は未だ6か月の乳飲み子です。

コロナ禍ということもあり、どこに連れて行くわけでもなく、ほとんどを家の中で過ごしました。孫娘にお年玉として「ねんどでおべんとうセット」を用意して与えました。大きな箱を見て大喜びの孫娘が、「じいじとねんどやる。」との天使の誘いに、でれでれの私。さっそく中身を取り出して粘土遊びを始めました。

セットの中身は、6色の小麦粘土(混色可能)とおべんとうの具材を型抜きできる鋳型、粘土を切るへら、麺を作るための道具、お弁当箱となっており、野菜やおにぎりやエビフライなどを型抜きして作り、お弁当箱に詰めて遊ぶというコンセプトでした。まず、何も言わずに、粘土のかたまりを与えてみました。子どもでも扱えるようになりかなり柔らかな仕様でしたから。ところがなんと、彼女はそれをつぶして平らにすることも、丸めることも、ちぎることもできません。「こうやってやるんだよ」とやって見せても、同じようにすることはできなかつたのです。うまくできないことにイライラし始めた彼女は、「じいじやって。」と指示します。私はそれに従って、おむすび、エビフライ、にんじんを型抜きで作って、ニョロニョロのうどんを作り、彼女に与えます。彼女はそれらをお弁当箱に詰めて完成させることができました。ところがどうでしょう。彼女はあまり嬉しそうではありません。彼女はやはり、自分で型抜きの野菜やうどんを作りたいのでした。人の作ったものでは喜びは半減です。対象年齢3才以上との表示でしたが、あと半年もすれば3才だから大丈夫だろうと高をくくったのが大きな間違いでした。正月早々、反省させられた一幕でした。

学校教育においても適時性がとても大切で、子どもの発達に応じて、学習内容が構成されています。1年生でわり算を教えないことや低学年に家庭科がないことは、言うまでもなくそういう理由です。さらに学習の積み重ねが前提となって系統的に作られているため、その学年での学習内容の理解や習得が極めて重要となります。前学年での学習内容が身に付いていない状況での授業は、たとえ場当たり的にやり方を教わりながら理解できたとしても、その子にとって決して楽しいものにはならないからです。

本日から3学期が始まり、学年での学習のまとめを行う時期となりました。学校では、全ての児童に当該学年の学習内容をしっかりと身に付けられるよう各担任が全力で指導に努めてまいります。御家庭におかれましては、お子さんの学習の状況を把握され、子供たちの健やかな成長を助けていただければありがたく存じます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

緊急事態宣言の発出に伴う3学期の学習・行事等の変更について

市教育委員会の指示により、以下の行事等は中止または延期とします。

- 5年社会科見学(1月12日)
 - 学校公開(1月16日)
 - 学年PTA行事(1月29日)
- ※詳しくは後日改めてお知らせします。